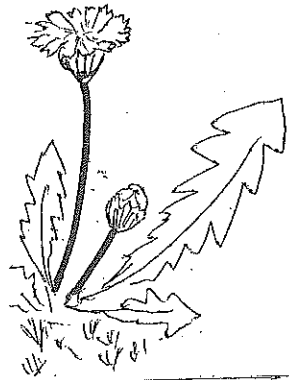


# 市議会だより

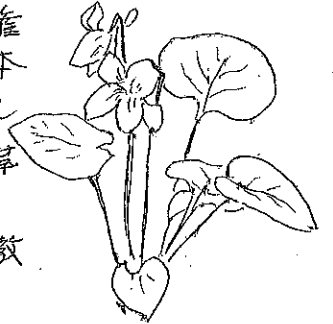
2013年 4月  
 年報刊 TEL 52-8381  
 日誌 TEL 58-0725

日本共産党市議  
 萩原 紘一



今、住民の皆さんの生活実態は深刻であらゆる分野でゆきつまりをきたしています。これは、一つ、二つの政権の責任というより長きにわたってすすめられてきた日本の政治体制(60年間続いた「自民党型政治」)がつくりだしてきたものであります。それだけに、真の政治の抜本的改革が求められています。

私は、この立場から、三つの課題について市長と教育長に質問しました。要旨を報告します。



## 一 基本姿勢

国の憲政を許さず、住民が主人公のふらした平和民主主義を守り発展させる政治を

(1) 市民の希望がもてない深刻な生活実態をどのよう  
 に掌握しておられるか、農  
 林漁業、中小業、労働者、  
 高齢者、障がい者、若者等の  
 実状について)

〔答弁〕

農林漁業における高齢  
 化や後継者不足による耕  
 作放棄、森林の荒廃、価格の  
 低迷、中小企業における経済  
 のグローバル化、産業の空洞  
 化への懸念など厳しい状況だ  
 若者、女性の非正規労働者  
 の増加による所得格差等も  
 生じている。一人暮らしの高  
 齢者の増加、老々介護や社会  
 的孤立、孤立死の問題、障が  
 い者に雇用の場がないこと  
 や、保健、福祉、医療、サービ  
 スの負担等への不安など市  
 民生活においても厳しい現状  
 がある。

(2) 市民が安心して生活で  
 きうためには、住民の切実  
 な利益を守り、住民に奉  
 する市政をめざすこと  
 同時に、国の政治を正す  
 ことが、今日、特に求めら  
 れているかどうか。

〔答弁〕

若者の雇用の創出や  
 地域資源を活かした地  
 場産業の振興、市民の命  
 財産を守るための防災力の向  
 上、本市の実情に合った地域  
 医療、福祉の充実に向けた取  
 組み等を押し進める、なお、  
 雇用環境づくりをはじめ、子  
 どもから高齢者まで全ての人  
 が安心して暮らせる社会の  
 仕組みを構築していくこと  
 を国に提言する。

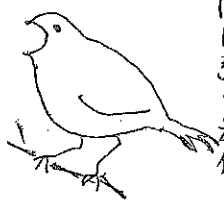


(3) 生活保護や介護・医  
 療、年金・保育などの制  
 度改善、国民多数の声  
 に背くTPP(環太平洋  
 連携協定)交渉参加問  
 題や原発推進、沖縄の  
 米軍基地、オスプレイ配  
 備問題、憲法9条改  
 定問題に見られる「財  
 界中心」と「アメリカい  
 いなり」の政治を根本  
 的に改め、憲法を守  
 り生かすことが重要  
 になっているかどうか。



【答弁】

自民党への政権交代となっ  
たが依然として消費税や社会  
保障と税の一体改革、TPP問題  
沖縄の基地問題など、多くの課題  
を抱えている国の形を根底から揺  
るがしかねない大変重要な課題で  
あり、日本国憲法によって保障さ  
れた基本的人権にかかわるので、  
住民に一番身近な基礎自治体の立  
場で切実な声を国に強く発信して  
いく。



TPP問題での私の主張

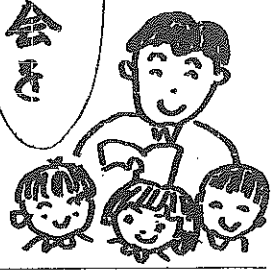
### “国民への選挙公約と自民党議員は守るべし”

安倍政権がTPPの交渉参加に踏み出す  
姿勢を強めているなかで、昨年12月の総選  
挙で当選した自民党議員295人のうち、  
205人が選挙公約で、TPP参加に反対を  
表明(全体の7割)。

宮崎県選出の自民党議員も「断固・絶対  
反対する」(選挙公報)と語っていることを  
とりあげ、国民・県民をごまかしてはいけ  
ないことを強調しました。

## 二、教育の課題

子どもたちのねがいを大切にし  
「いじめ」「体罰のない学校と社会を



今日、いじめ、体罰の問題が大  
きな社会問題となっている。  
特に大阪の高校での部活で、  
教員の暴力により生徒が自ら  
命をたつというあつてはばらな  
い痛ましい事件が起こった。ま  
たスポーツ界での暴力も軽視  
できない問題である。肉体的な  
苦痛と恐怖をあたえることは、  
人間の教育・スポーツとは無縁で  
あると考える。この解決をは  
かるためには、学校・地域・社会  
のそれぞれの分野での話し合い  
と共同の場を設けることが大切  
だと思ふがどうか。

【答弁】人格の形成をめぐり学校教  
育やルールに則って行われるスポー  
ツ競技において、「いじめ」や「体罰」  
「指導上の問題」等が起きている

ことは心痛むことである。部活  
動においては、毎年9月から11月  
にかけて市内すべての中学校に対  
して「部活動訪問」を実施し、部  
活動の状況を把握するとともに、  
「体罰」等による指導が起ころな  
いように指導。

また各中学校区で、児童生徒の  
豊かな心を育むために学校・保護  
者・地域住民が連携・協力し、「健全  
育成事業」を実施している。  
今後、文化・スポーツ関係団体  
とも共同し、対話を深めながら  
子どもたち一人一人を育てていく  
環境づくりに努めていく。

## 三、環境の課題

どこに住んでも住みよい  
生活環境を

①空き家問題と対策について  
いま空き家が日向市でも増加  
している。市民生活の安定と  
いう面から取り組まざるは影

響きをおよぼしている。市はこれ  
らの実態調査と適切な対応策  
を打つ出す必要があると思ふがどうか。

【答弁】日向市の環境を自然を守る条  
例、及び、日向市大災害予防条例に  
基づき、現地確認をしている。所有者  
が確定できない場合など地元自治会を  
はじめ関係機関と連携する。他市の  
事例や関係法令等を研究し、再利用  
など適切な対応に努める。

## (2)生活道路、橋の改善対策

住民の日常生活と子どもたちの通学  
路の安全をはかる上での道路の  
拡幅や橋の抜本的な改修が求  
められてくるがどうか。(例えば  
田くぼ橋とその周辺地域の市  
道の整備など)

【答弁】市道拡幅等の道路整備事  
業については多くの要望が出されて  
おり、優先順位を付し対応している。  
今後、歩行者の安全確保を図る具  
体的な手法について、など、自治  
会をはじめ、学校関係者とも協  
議を進めていく。

